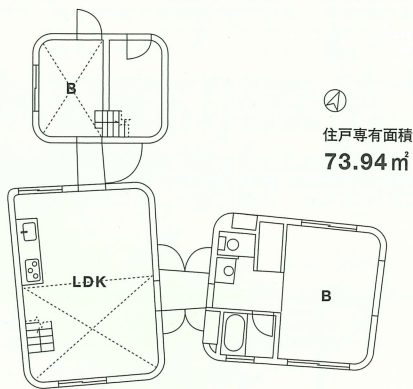


白い一軒家が集まった、 小さな集落みたいな住宅。

角が丸い箱がぼこぼここと並んでいる。箱が部屋になっており、その向きはばらばらなので、間にある共用廊下も真っすぐではなく、変わった形の広場のような空間が広がる不思議な造り。箱は1つだけで1戸、というものから3箱で1戸までいろいろ。しかも横につながっていたり、階をまたいで縦につながっていたりするから、同じ間取りの部屋はほとんどない。

「賃貸集合住宅でも各戸が一軒家に近い感じにしたい」というのが建築家の目論見。「廊下が広いと隣のご飯の匂いも伝わってこないし、風や光も通る」と設計者は言う。建物は5階建てで、そのぐらいの高さになると、どうしても下の階では薄暗い部屋ができてしまいがちだが、ここでは広い廊下のおかげで差し込む光が暗所を作らない。また、共用廊下の一部は特定の部屋の入居者だけが使えるテラス仕様。各個室は“一軒家”だが、廊下の境界線は曖昧で、どこまでが自分のエリアなのかわからない。路地に鉢植えを置いたりして暮らしが街にはみ出している東京の下町や、白い家が集まった南ヨーロッパの集落みたいな雰囲気なのだ。

入居者の一人は「普通じゃない感じ」が決め手の一つになって入居を決めた。周りに緑地があり、遮るものがないので、窓からきれいに空が抜けて見える景色も気に入っている。「建物の中に入ると、共用廊下のエリアも自分の部屋の中も迷路みたいな感じになっているのが好き」とのこと。用がなくても部屋の中や外を散歩してみたくなる集合住宅だ。



data

■所在地／東京都目黒区碑文谷 ■交通／東急東横線都立大学駅から徒歩9分 ■規模・構造／地上6階・鉄筋コンクリート造 ■住戸数／11戸 ■住戸専有面積／31.62～80.54㎡ ■賃料／100,000～340,000円 ■共益費・管理費／合計5,000～10,000円 ■竣工／2011年3月 ■問合せ先／エクセル・コミュニティ ☎03・5425・1200

広く気持ちのいい共用廊下。曲がりくねった路地のように楽しい。建物の四方に開いていて、風や光がよく通る。



吹き抜けのある部屋。各室の用途は特に決めていないが、天井の高さがそれぞれ違うので、雰囲気も変わる。



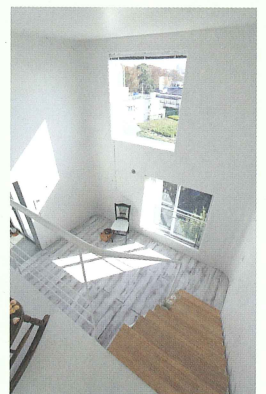
trifolia

東京都目黒区

設計：若松 均／若松均建築設計事務所

01

吹き抜けの上から見下ろしたところ。窓は部屋の中から隣の緑地や桜並木など、いい景色が見える位置に開けた。



白い小さな家が寄り添って立っているような外観。どの方向から見ても同様の見え方をする、裏表のない建物だ。



専用の屋上庭がある部屋も。見晴らしがよく、周囲の景色を独り占めできる。ハーブを植えたり、アレンジも自在。